

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2012/06/30

Vol.23

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) http://togu.seesaa.net/ (ブログ)

平成 24 年 第 2 回 印西市議会定例会報告 (2)

いつもお世話になっております。印西市議会第2回定例会（5月議会）は、6月19日（火）迄の会期にて行われ、終了しました。

放射能汚染焼却灰をどうする？

(1) 以下の決議文を議会最終日に印西市議会として千葉県に提出しました。【以下、原文記載】

放射性物質を含む焼却灰の手賀沼終末処理場を一時保管場所とする決定に対し、
より丁寧な説明を求める決議

平成 24 年 6 月 18 日千葉県知事は、放射性物質を含む焼却灰の一時保管場所について、手賀沼流域下水道終末処理場に一時保管場所を設置する決定を下した。

この決定に際し、千葉県は、平成 23 年 10 月 31 日に手賀沼流域終末処理場を候補地として提案後、本年 4 月 26 日に印西市議会への説明、6 月 9 日に近隣住民に対する住民説明会を実施したが、到底住民の理解を得られたものとは言い難く、ましてや我孫子市議会への説明はいまだに実現していない状況でもあり、広域自治体としての県の責務（説明責任）を十分に果たしていない中での決定には、印西市議会としては納得のいくものではない。

緊急要望した各市等は逼迫した状況であり、共助という点では充分理解できるものではあるが、住民説明会での質問に対しても、その後回答もなく、千葉県と地元住民との溝が深まった感が否めない。

候補地周辺の 3 自治体・町内会に対する住民説明会で十分な説明ができたとは言い難く、市民に対する全体説明会の実施、施設の安全性や風評被害に対する対応、終末処理場以外の一時保管場所の早急な提示、一時保管場所を恒久的な保管場所としないこと等を慎重に検討していただき、より丁寧な説明を強く求めるものである。 以上 決議する

平成 24 年 6 月 19 日

印西市議会

(ぐんじとしのりより皆様へ)

議会最終日前日、森田千葉県知事が「手賀沼流域下水道終末処理場」に放射性物質を含む焼却灰を一時保管することを決定したという発言があり、マスコミ各社で翌日（市議会最終日）に一斉、この発言について記載がされました。印西市議会としては、「千葉県のごり押しは通らないよ」という内容で決議案を市議会として提出する必要があると私は考えましたので、この議案の賛同議員として名前を連ねました。

もちろん、私自身もこの内容では「弱い」というのは十分に承知していますが、議員それぞれの「反対」についての思いは異なり＝私自身は「容認できない」という文言を入れたかったのですが、最大公約数的に、昨日千葉県の森田知事が「進める」と言う発言に対して、「だめ」ということを即日返信することが大事だと考えたので上記のような緩い文面になりました。

(端的に記載すれば内容にこだわり、合意が得られないことが問題だと考えたわけです。)

(2) これまでのおおまかな経過について

- ① 汚染焼却灰の処理を巡り、松戸、柏、流山、我孫子市と、印西地区環境整備事業組合（印西市・白井市・栄町）が、県に一時保管場所の確保を要望（昨年 8 月 31 日）
- ② 県は、我孫子市と印西市にまたがる同処理場を提案。印西市、我孫子市はその場所では、「住民理解が得られない」などと反発し、協議は難航。（昨年 11 月～本年 2 月）

- ③ 県は2月、「不安を払拭（ふっしょく）したい」として両市に、市議会と住民への説明会開催を申し入れ、印西市議会は「話だけは聞こう」と開催を了解
一清掃工場から出る放射性物質を含む焼却灰の一時保管場所として手賀沼終末処理場を千葉県から印西市と我孫子市に提案している問題で、印西市議に対する説明会が4月26日午後2時から文化ホール多目的室で開催されました。出席：印西市市議会議員 22名（2名欠席）
- ④ 6月9日（土曜日）千葉県主催で我孫子東高校での「近隣住民への説明会」が開催。地域住民とマスコミ、傍聴者に分かれて座りました。関係者、マスコミを除く参加者は170人程度。

手賀沼流域下水道 手賀沼終末処理場を選定／提案した理由

- ① 運搬距離、利用団体による管理・監督のしやすさ等の観点から、焼却灰が発生する市町村等の近隣の地域内の場所であることを最優先とした。
- ② 現在も高濃度の放射性物質が検出されている団体の焼却灰の発生量を勘案し、一定の面積が確保できる場所であること
- ③ 県が総括的な管理責任を果たすことが出来る場所であること。

【千葉県からの提案】

- * 8,000Bq/Kgを超える、松戸市、柏市、流山市で発生する新たな焼却灰を受け入れてほしい
(注) 印西地区環境整備事業組合で、現在8,000Bq/Kgを超える新たな焼却灰は現在、発生していない。・・・「他市で発生した焼却灰のみ引き受けるの?」
- * 予定地 2ha 現在、一時保管を継続している松戸市、柏市、流山市の発生量の1年分。
仮設倉庫を最大15棟設置—平成26年度末まで使用し、その後は原型復帰する。
—仮設倉庫は、コンクリート基礎の上に設置し、コンクリート床構造とします。
—雨水対策として、仮設倉庫周囲にU字溝を設置し、倉庫内への流入を防止する。
- * 県は利用団体（3市—松戸市、柏市、流山市）の指導監督を行い、日常管理は、3市で行なう。

【手賀沼流域下水道 終末処理場について】

- * 手賀沼流域下水道は、松戸、柏、流山、我孫子、鎌ヶ谷、印西、白井の7市にまたがる、約55万人の下水を処理しています。
- * 下水を濾過してできる「汚泥」には高濃度のセシウムが含まれており、それを焼却した「汚泥焼却灰」では、さらにセシウムが濃縮されます。手賀沼終末処理場から出た焼却灰のセシウム最高値は、昨年5月の25,000Bq/Kgです。(国が埋め立てを許可しているのは8,000Bq/Kg以下)・・・現在、高濃度のセシウムが含まれた「汚泥焼却灰」は手賀最終処分場にあり、仮設倉庫に保管されています。仮設倉庫は既にいっぱいになりそうで(現在13棟)、千葉県は今年度さらに12棟を増設する方針を固め、(県の)今年度予算に建設費3億円を計上しています。)

【ぐんじとしのりからの質問と回答】(4/26 印西市議会議員への説明会時)

- * 現在、汚泥焼却灰を保管するための仮設倉庫が13棟あり、今年度12棟建設する。
そのうえ、さらに15棟も汚染焼却灰をいれるための倉庫を建設するのか。全部で40棟？
印西市民や我孫子市民の感情をどのように考えるのか？
・・・回答 物理的な面積の問題もある。また分散配置するよりも一括管理の優位性があることを理解してほしい。(ぐんじ・・・理解できない。)
- * この場所でなくても、自衛隊の北総基地もあるでしょう？
・・・回答 現在地だけで充分でないことも理解していくので並行して探していきたい。
- * 市政の最新状況はツイッター (@toshigu) や私が記載するブログ (ほぼ毎日更新) で発信しています。また、この議会報告「みどりみらい」は配布地域により内容が異なることもありますので予めご了解ください。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しく
お願いします。ぐんじとしのり